

東北電力株式会社女川原子力発
電所原子炉設置変更許可申請
(1号、2号及び3号原子炉施設
の変更)の概要について

平成9年5月

1 申請の概要

(1) 申請者

東北電力株式会社 取締役社長 八島 俊章

(2) 発電所名及び所在地

女川原子力発電所

宮城県牡鹿郡女川町及び牡鹿町

(3) 原子炉の型式及び熱出力

型 式 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型

熱出力 1号炉

約 1,590 MW (電気出力 524 MW)

2号及び3号炉

約 2,440 MW (電気出力 825 MW)

(4) 申請年月日

平成9年2月18日(平成9年5月14日一部補正)

(5) 変更項目

2号及び3号炉の核燃料物質取扱設備の一部並びに使用済燃料貯蔵設備を1号炉と共用化する。

(6) 工事計画

本変更については工事を要しない。

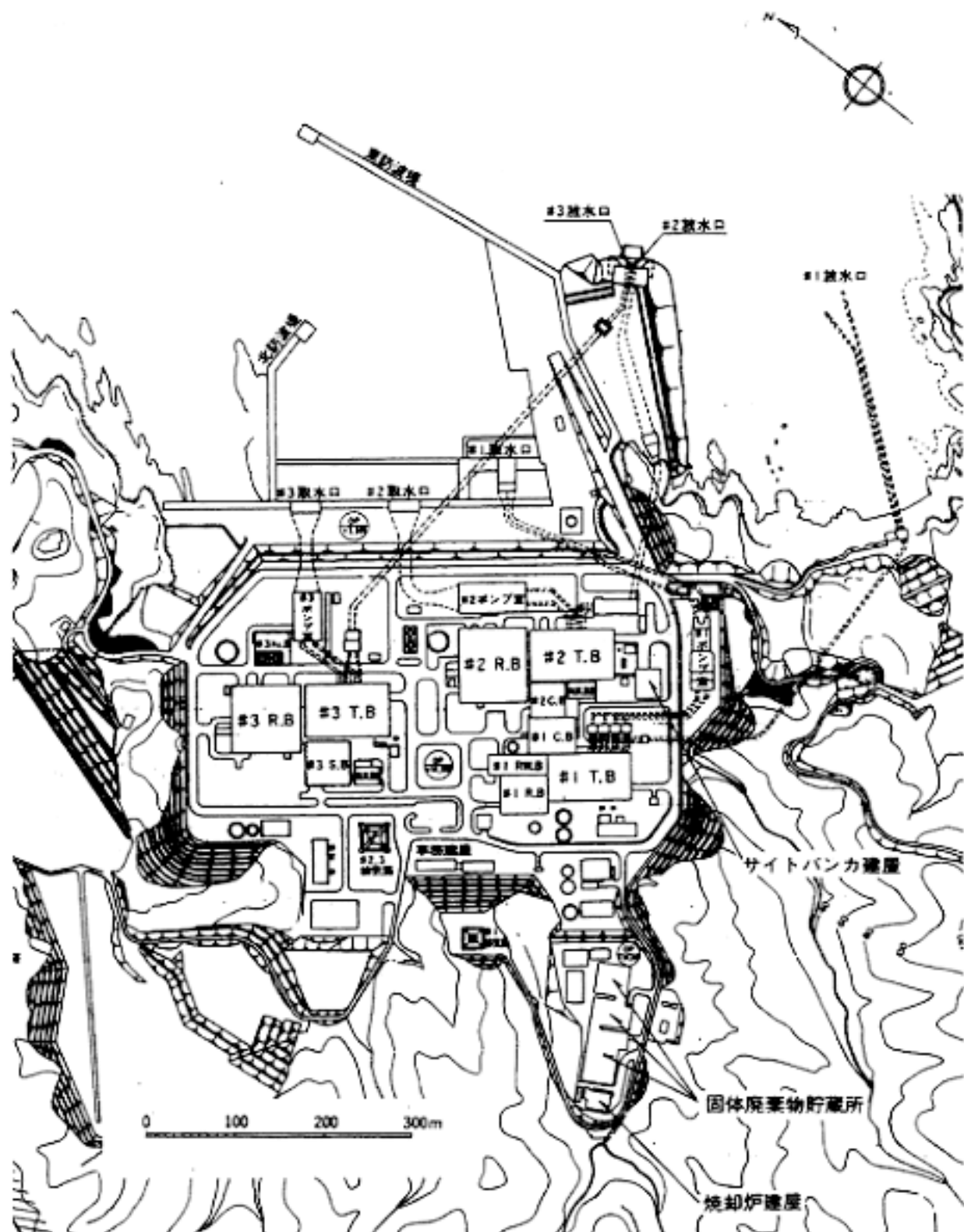
2 変更の概要

本変更は、1号炉の使用済燃料の貯蔵裕度を確保するため、2号及び3号炉の核燃料物質取扱設備の一部並びに使用済燃料貯蔵設備を1号炉と共用化するものである。

共用化により、1号、2号及び3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力は、第1表のとおりとなる。

第1表 使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力

	変 更 前	変 更 後
1号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約 285%相当分 (1,050 体) (1号炉)	全炉心燃料の約 285%相当分 (1,050 体) (1号炉(既設)) 全炉心燃料の約 610%相当分 (2,240 体) (1号及び2号炉共用(既設)) 全炉心燃料の約 760%相当分 (2,800 体) (1号及び3号炉共用(既設))
2号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約 400%相当分 (2,240 体) (2号炉)	全炉心燃料の約 400%相当分 (2,240 体) (1号及び2号炉共用(既設))
3号炉の使用済燃料 貯蔵設備の貯蔵能力	全炉心燃料の約 500%相当分 (2,800 体) (3号炉)	全炉心燃料の約 500%相当分 (2,800 体) (1号及び3号炉共用(既設))



凡例	R.B	原子炉建屋	T.B	タービン建屋
	C.B	制御建屋	R.W.B	放射性廃棄物建屋
	S.B	サービス建屋	AUX.B.B	補助ボイラー建屋
	Hx.B	海水熱交換機建屋		

女川原子力発電所平面図